

第14期（2011年3月期）
定時株主総会

2011年6月19日

株式会社シンプレクス・ホールディングス
(東証一部：4340)

www.simplex-hd.co.jp

お手持ちの投票用紙をご確認ください

こちらの投票用紙は、質疑応答終了後に「Aの部分」をお近くの係員が回収に伺いますのでそれまでにご記入いただきますようお願いいたします。

No. _____			
株式会社シプレクス・ホールディングス 第14期定時株主総会投票用紙			
議案	議案に対する賛否棄権		
第1号議案	賛	否	棄権
第2号議案	賛	否	棄権
<p><お願い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本票は、株主総会の決議の際、回収させていただきます。 ・上記の各議案につき、賛・否・棄権いずれかを○印で表示してください。 <u>なお、各議案について、賛・否・棄権の表示がない場合は、 賛の表示があったものとして取り扱います。</u> ・ご発言の際は、上記番号とご氏名をお申し出ください。 ・一旦、退場後再入場されるときは、本票を受付にご呈示ください。 			
No. _____ 第14期 定時株主総会 入場票 本券はお土産との引き換え となりますので、最後まで お持ちください。 株式会社シプレクス・ホールディングス			
投票の場合は、切り取ってご提出ください。			
A			B

注意 1 : 各議案について賛・否・棄権の表示が無い場合は、「賛」の表示があったものとして取り扱いますことをご了承ください。

注意 2 : 「Bの入場票」については、お帰りの際にお土産との引換え票となりますので、それまでお持ち頂くようお願いいたします。

第14期（2011年3月期）
定時株主総会

2011年6月19日

株式会社シンプレクス・ホールディングス
(東証一部：4340)

www.simplex-hd.co.jp

第14期（2011年3月期）

報告事項

事業報告の内容報告の件

代表者プロフィールと沿革



金子 英樹

(昭和38年9月1日生、47歳)

株式会社シンプレクス・ホールディングス
株式会社シンプレクス・コンサルティング
代表取締役社長

- アンダーセンコンサルティング
(現アクセンチュア)
金融機関向けシステムコンサルティング
- ソロモン・ブラザーズアジア証券
(現シティグループ証券)
トレーディング部門システム統括
- シンプレクス・ホールディングス設立 (設立当時33歳)
(旧シンプレクス・テクノロジー)

ソロモン・ブラザーズの最先端技術を誇るシステム
チームのメンバーと共に1997年に創業

シンプレクス・ホールディングス沿革

- 1997年9月
⇒シンプレクス・ホールディングス 設立
(旧シンプレクス・テクノロジー)
- 2002年2月
⇒JASDAQ上場
- 2005年9月
⇒東証一部上場 (会社設立から7年11ヶ月)

- 2010年10月1日
⇒持株会社体制へ移行
新設継承会社としてシンプレクス・コンサル
ティングを設立し、純粹持株会社となる

2011年3月期 連結業績 (実績)

売上高	: 149.8億円
営業利益	: 25.6億円
売上高営業利益率	: 17.1%

コーポレートスローガンと事業領域

■コーポレートスローガン

イノベーションを世界へ
Hello world, Hello innovation.

■事業領域

金融

×

IT

ディーリング業務・トレーディング業務に代表される
金融機関の収益業務（フロント）支援に特化

主要製品と当社シェア

No.1金融ソリューションプロバイダーとしての地位を確立
特にFX取引システムでは圧倒的なシェアを誇る

主力製品における当社シェア

FX（外国為替証拠金取引）システム

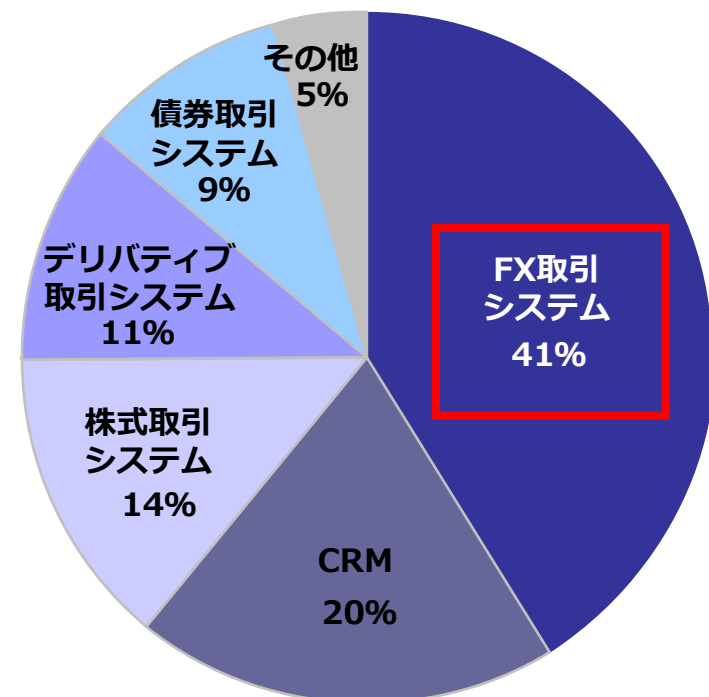
- 大証FX取引所システムを構築 (2009年7月創設)
- 大証FX参加業者：13社中**10**社採用
- くりっく365参加業者：24社中**9**社採用
(2011年4月現在)

債券取引システム

- 大手総合証券：10社中**9**社採用

製品別 売上高構成比率

(2011/3期)



高度な金融ノウハウ・技術力の提供で断トツの収益力

売上高営業利益率の比較（2011年3月期）

業界平均	NTTデータ	シンプレクス
5.8%	6.7%	17.1%

出典：「2010年版情報サービス産業基本統計調査」ならびに23年3月期決算短信等から当社作成

高収益性を支える2つの事業

受託開発事業：SI

想定売上総利益率
40%

サービス事業：UMS

想定売上総利益率
50～60%

SIとは：システム・インテグレーション (System Integration)事業の略称です。

UMSとは：ユニバーサル・マーケット・サービス(Universal Market Service) 事業の略称であり、当社の造語です。










2011年3月期 決算状況

	修正前 通期目標 (前期比)	修正後 通期目標 (前期比)	通期実績 (前期比)	修正後 通期目標 達成率	主な下方修正要因
売上高	165.0億 (+18.1%)	150.0億 (+ 7.4%)	149.8億 (+ 7.3%)	-0.1%	大型SI案件の受注不調
営業利益	38.0億 (+25.2%)	22.5億 (-25.8%)	25.6億 (-15.6%)	+13.8%	UMS (導入) 案件の減少
経常利益	37.5億 (+24.6%)	21.8億 (-27.6%)	25.1億 (-16.4%)	+15.3%	
当期純利益	22.5億 (+22.0%)	13.1億 (-29.0%)	14.4億 (-21.5%)	+10.6%	新世代SPRINT (Voyager:ボイジャー) 向け 研究開発費の追加投資

**下方修正の経営責任明確化のため役員賞与を全額カット
1株当たり配当金：480円については修正せず（前期比80円増配）**

※2011/3期2Qよりバーチャレクス・コンサルティング（以下バーチャレクス）を持分法適用関連会社から連結子会社へ異動いたしました。

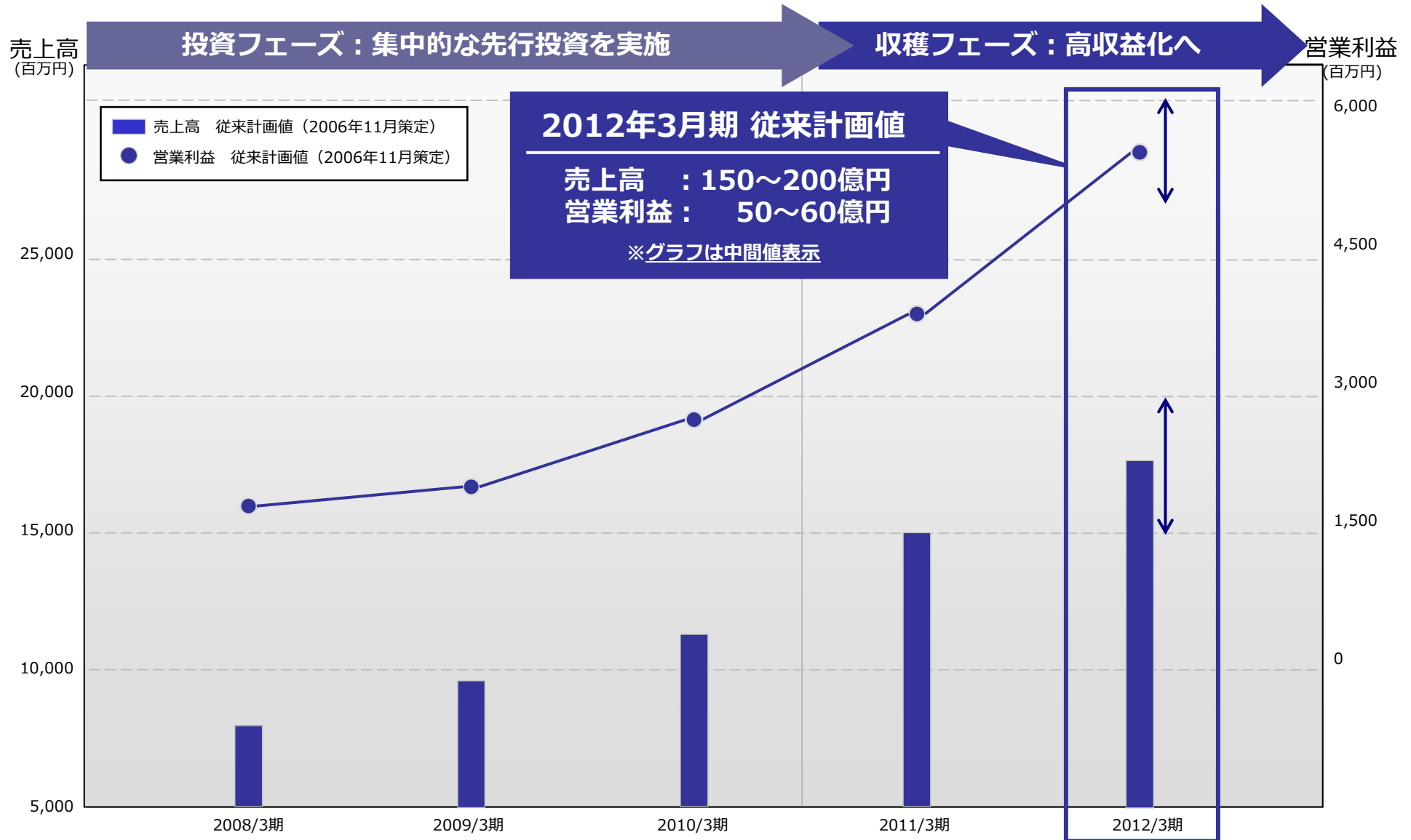
2012年3月期 決算見通し

	第2四半期目標 (前期比)	通期目標 (前期比)	3つの取り組みテーマ
売上高	 76.8億 (+14.6%)	 175.0億 (+16.8%)	 <p>大型SI案件の獲得</p> <p>UMS (導入) 案件の回復</p> <p>新世代SPRINT (Voyager:ボイジャー) の早期開発</p>
営業利益	 11.2億 (-3.9%)	 31.0億 (+21.0%)	
経常利益	 11.1億 (-1.0%)	 30.8億 (+22.5%)	
当期純利益	 5.7億 (-17.3%)	 17.0億 (+17.4%)	

第2四半期は研究開発費負担等で減益の予想、通期で過去最高益を見込む
1株当たり配当金については500円を予定 (前期比20円増配)

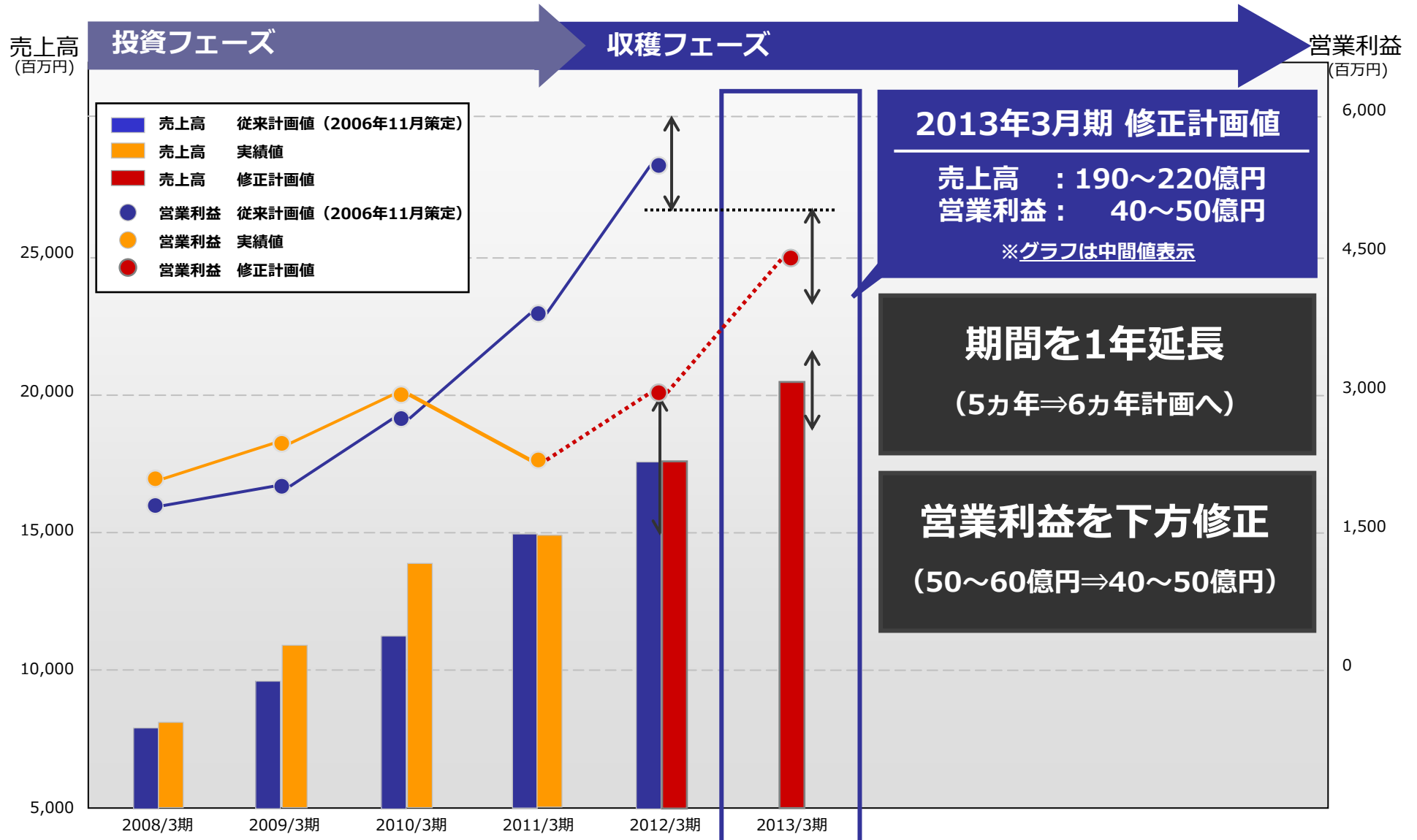
修正第二次中期事業計画

従来の第二次中期事業計画（2006年11月策定／5カ年計画）

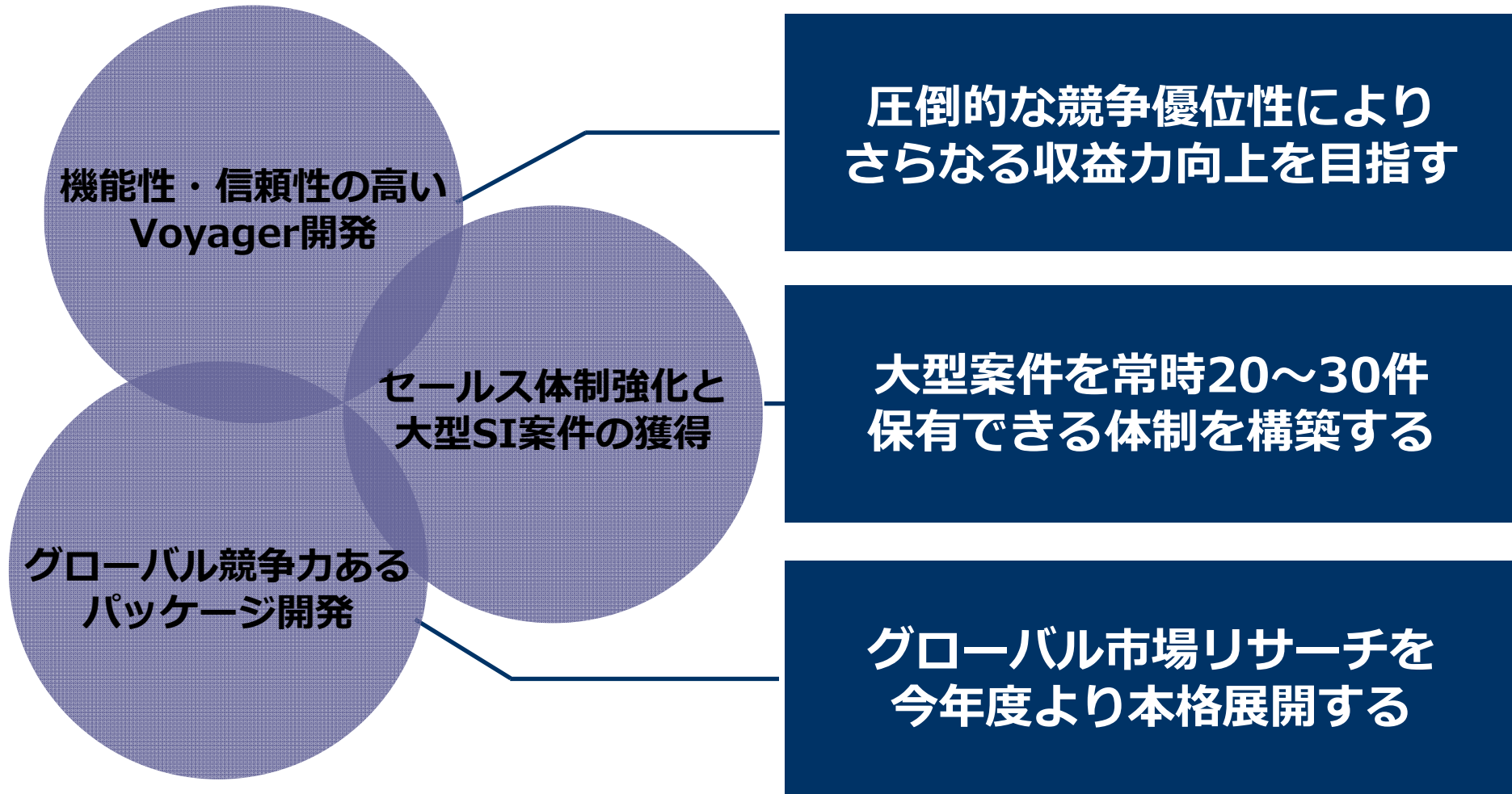


※UMS事業向け先行投資として、5年間で50億円程度の投資を実施予定です。
※投資コストは各会計年度で費用化することを前提としています。

修正第二次中期事業計画 (2011年4月策定 / 5カ年⇒6カ年計画へ)



修正第二次中期事業計画の重点活動項目（2012/3期～2013/3期）



大型SI案件の獲得、Voyager：ボイジャーの早期開発に注力し
修正第二次中期事業計画（最終年度2013/3期）の目標達成を目指す

持株会社体制への移行

1. 2010年10月1日からの新体制

(株) シンプレクス・ホールディングス
(純粋持株会社)

(株) シンプレクス・コンサルティング
(新設継承会社)

2. 移行のメリット

- 事業提携やM&A等の戦略的推進
- グループの戦略マネジメントと経営資源の最適配分

上場企業初の「IR宣言」 ～パブリック企業として説明責任をコミットメント～

2009年11月2日発表

1. IR活動を経営の最重要項目のひとつとして位置づけます。
2. 東証一部上場のパブリック企業として説明責任を果たし、常に明瞭な企業メッセージを発信いたします。
3. 業績動向や事業環境に関わらず、一貫して公正で信頼性の高い情報を開示いたします。
4. 企業認知度の向上を目指すとともに、すべての利害関係者に対して公平かつタイムリーな情報開示に努めます。
5. 株主・投資家とのコミットメントを遵守し、ゆるぎない信頼の構築に努めます。

第14期（2011年3月期）
第1号議案

剰余金配当の件

第14期（2011年3月期）
第2号議案

**当社および子会社の取締役および従業員に対して、
特に有利な条件をもって新株予約権を発行する件**

質疑応答

ご発言の際、はじめに

「株主出席票番号」と「お名前」をおっしゃってください。

質問はおひとり様 1 回につき 1 問とさせていただきます。

株主総会の議事と直接関係しないご質問については、

株主懇親会にてご質問いただくようご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

投票用紙「Aの部分」を回収いたします。
ご記入の上、お近くの係員が回収に伺いますので、お渡しください

No. _____			
株式会社シンプレクス・ホールディングス 第14期定時株主総会投票用紙			
議案	議案に対する賛否棄権		
第1号議案	賛	否	棄権
第2号議案	賛	否	棄権
<p><お願い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本票は、株主総会の決議の際、回収させていただきます。 ・上記の各議案につき、賛・否・棄権いずれかを○印で表示してください。 <u>なお、各議案について、賛・否・棄権の表示がない場合は、 賛の表示があったものとして取り扱います。</u> ・ご発言の際は、上記番号とご氏名をお申し出ください。 ・一旦、退場後再入場されるときは、本票を受付にご呈示ください。 			
A			

No. _____	
第14期 定時株主総会	
入場票	
<p>本券はお土産との引き換え となりますので、最後まで お持ちください。</p>	
B	

投票の場合は、切り取ってご提出ください。

株式会社シンプレクス・ホールディングス

注意1 : 各議案について賛・否・棄権の表示が無い場合は、「賛」の表示があったものとして取り扱いますことをご了承ください。

注意2 : 「Bの入場票」については、お帰りの際にお土産との引換え票となりますので、それまでお持ち頂くようお願いいたします。

議決権行使結果発表

5 DNA

イノベーションを世界へ発信する
シンプレクスの5つのDNA



Hello world, Hello innovation.

シンプレクスは世界に向けてイノベーションを発信する
金融機関の収益ビジネスに特化した金融ハイテクカンパニーです

株式会社シンプレクス・ホールディングス 東証1部：4340